編集室だより

＊　編集委員会の構成につきましてご報告申し上げます。支部選出の委員では，北海道支部で本城誠二先生が退任され，本村浩二先生が新たに就任されました。東北支部で照沼かほる先生が退任され，土屋陽子先生が新たに就任されました。東京支部で若林麻希子先生が退任され，中野学而先生が新たに就任されました。関西支部で辻和彦先生が退任され，三杉圭子先生が新たに就任されました。中国四国支部で辻祥子先生が退任され，重迫和美先生が新たに就任されました。代議員会選出の委員では，詩部門で出口菜摘先生が退任され，朝比奈緑先生が新たに就任されました。これまでご尽力いただきました先生方に改めまして感謝申し上げます。また，去る５月20日に関東学院大学で開催された書評会議で，2023年度編集委員長に髙尾直知先生が選出されました。

＊　書評会議では，2022年に出版されたアメリカ文学関連研究書29点について検討し，12点を次号機関誌の「書評」欄で，11点を「短評」欄で取り上げることになりました。書評執筆依頼をご快諾くださいました先生方に御礼申し上げます。また日文号の「書評」欄で取り上げた研究書については，英文による内容紹介を編著者の方々に執筆いただいて英文号に掲載することとなっています。すでにご依頼させていただいていることと存じますが，どうぞよろしくお願いいたします。

＊　本学会機関誌への投稿論文は４月25日に締め切られ，19篇の応募がありました。ご投稿くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。６月17日に立教大学で開催された編集会議で委員全員による討議を重ねた結果，英文号に３篇が採用されることとなりました。以下，採用論文執筆者のお名前，所属支部，論文題名をお知らせいたします。

【英文号論文　3篇】
小　林　正　臣（九州支部）　The Sciences and Beyond: On Nonhumanity in *Moby-Dick*
松　田　卓　也（九州支部）　“Still, I Don’t Feel Guilty”: Law, Satire, and Mimicry in Paul Beatty’s *The Sellout*
Michael Larson（東京支部）　Being, Work, and The Cold War in Ursula K. Le Guin’s *The Dispossessed*

＊　上記採用論文のうち，著者が新人賞受賞資格を持つ論文についてさらに選考を行いました。その結果，本年度は該当論文なしと決定されました。

＊　2017年３月をもちまして，国立情報学研究所が提供してきたCiNiiによる論文オンライン化事業が終了しました。日文号・英文号両誌のバックナンバーについては，科学技術振興機構が提供するJ-Stageでオンライン公開されています。ご研究等にご活用頂ければと存じます。

＊　当学会では新人賞創設にともない，2010年度より投稿規定が改定されました。投稿の際には改訂後の投稿規定を遵守くださいますようお願いいたします。図版等の掲載につきましては，版権の申請作業およびその費用を，執筆者にご負担いただきますので，よろしくご承知おきください。投稿規定に準拠しない注・文献形式などの論文，また体裁などに不備がある論文（*MLA Handbook*の最新版を参照のこと）は，編集委員の査読にあたり不利な印象を与えます。著しい場合には，審査の対象から外れる場合もありますので，ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＊　これまで編集室幹事としてご尽力くださった波戸岡景太氏（明治大学）が，昨年度をもって退任されました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。なお，昨年10月の代議員会において新編集室幹事として来馬哲平（青山学院大学），深瀬有希子（実践女子大学）が承認されました。これからも当学会機関誌の刊行に尽力して参りますので，何卒よろしくお願い申し上げます。

（編集室幹事　来馬哲平，深瀬有希子，山本洋平）